

ポリシー・ノート別添

人間の安全保障の再考

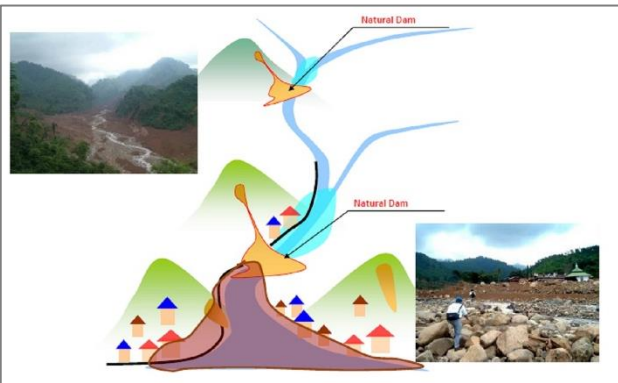
—東アジア 11 か国の研究からの提言—

参考事例

本紙では、ポリシー・ノートの提言内容の理解の一助として、提言を実践している JICA の協力を紹介する。協力の詳細はウェブサイトのキーワード検索にて参照可能。 <https://www.jica.go.jp/>

「政府による保護」から「人々の能力強化」へ インドネシア天然ダム決壊監視・警戒避難対策

マルク州ヌグリ・リマ村の中心を流れるワイエラ川上流で 2012 年、大規模な地滑りにより天然ダムが発生した。その状況を調査した JICA 専門家が決壊の危険に気づき、インドネシア公共事業省に必要な対策を取るよう提言した。一方でもう 1 名の JICA 専門家を中心とし、全国規模の NGO や地元 NGO、大学生、村民グループを通じて、住民向けにダムの危険性の周知や安全な避難方法の啓発活動が行われた。



天然ダムが決壊するイメージを伝えるポスター（バンジール・バンドン災害対策プロジェクト）

その後、2013 年の集中豪雨により、ワイエラ川上流の天然ダムが崩壊し、ダム湖の水とダム

本体などの土砂が土石流となった。数時間で、約 1,300 万平方メートル（東京ドーム 10 杯分）の水が流出、ワイエラ川河口に位置するヌグリ・リマ村の中心地区を直撃した。このとき、水位の変化をモニタリングしていた日本及びインドネシアの専門家チームが住民に避難を呼びかけたのに応え、想定される被害を想像できていた現地の住民約 5,000 人は速やかな避難に成功。人的被害を最小限に食い止めることができた。

情報提供：JICA インドネシア事務所

キーワード：インドネシア、天然ダム、バンジール・バンドン、災害対策

横のネットワークの推進 メコン地域人身取引被害者支援能力 向上プロジェクト

本案件は、被害者中心主義のもと、タイ政府と協働で、タイで被害にあっていない人身取引被害者の保護、社会復帰・帰還を担当する関係機関（人身取引対策部、警察、病院、入国管理局、NGO 等）の能力強化を支援している。タイ人の被害者のみならず、タイで被害にあった外国人をも切れ目なく支援するため、本案件ではメコン地域ワークショップを開催し、タイと隣接する国々との関係機関レベルでの多層的な連携強

化を促し、各国の制度の理解や帰還・社会復帰における課題をワークショップ参加者で共有している。さらに、現場レベルの担当者向けのハンドブックも作成している。



人身取引被害者保護・自立支援促進プロジェクトでのフラワーアレンジメント訓練 (Photo: JICA/Yasuhiko Okuno)

また、本案件とも連携し、JICA は日本国内で ASEAN 各国および日本の関係者の参加を受けて、被害者保護に関する課題点の共有と相互学習に取り組む研修を開催している。その他、JICA はミャンマーとベトナムでもプロジェクトを開始する予定であり、メコン地域での事業展開を活発に行っていく。

情報提供：JICA タイ事務所

キーワード：タイ、人身取引、社会復帰、ミャンマー、ベトナム、メコン、ASEAN

主権尊重と相互の信頼醸成 フィリピン・ミンダナオ平和構築 支援

JICA は、40 年以上にわたり紛争が続いたフィリピンのミンダナオ島で、和平合意前から様々な支援を実施してきた。政府関係者が立ち入りできなかったモロ・イスラム解放戦線 (MILF) の支配地域において、JICA の仲介でフィリピン稲研究所の専門家や農業省の普及員による農業技術指導を実現し、和平後を見据えたミンダナオ島の開発の担い手の育成支援、ならびに平和の配当の享受を住民に実感してもらえる支援を行った。



包括的能力向上プロジェクトにおける伝統的な海藻養殖の様子 (Photo: JICA)

また、マレーシア科学大学と共催で、ミンダナオ平和構築セミナーを 6 度にわたって開催し、和平合意前であっても、和平プロセスに影響力を持つ関係者や第三者が率直に対話できる場をつくり、当事者同士の理解促進を支援した。

こうした取り組みによってフィリピン政府・MILF・住民と日本側の信頼関係が育まれ、日本政府の仲介によるアキノ大統領とムラド MILF 議長の和平合意に向けた初の会談が成田で実現するなど、和平合意後の新自治政府設立に向けた移行プロセスにも貢献している。

情報提供：JICA 平和構築・復興支援室

キーワード：フィリピン、ミンダナオ、平和と開発

§